

## ヘッドライン

- ① J A R L上越クラブの紹介..... P2
- ② 中国製の格安なネットワークアナライザnanoVMAのご紹介..... P3
- ③ 各局訪問インタビュー（J H Ø R L Bの巻）..... P4
- ④ 「eラーニングによる上級ハムの勧め」..... P6
- ⑤ 「おもちゃ？」イヤイヤSSB送受信機です..... P7
- ⑥ お知らせ..... P8
- ⑦ 編集後記..... P8

日本アマチュア無線連盟登録地域クラブ



上越クラブ



## JARL 上越クラブ紹介

JARL 上越クラブは昭和33年に有志の局により設立された大変歴史のあるアマチュア無線クラブです。現在はご多分に漏れず多い時では200名を超す部員がいましたが残念ながら今は40名弱になってしまいました。

それでも一昨年は上越市立水族博物館の記念局8NOJMを運用したり、例年納涼会、新年会、事業所見学会、講習会、移動運用、毎週日曜日のロールコールなどを地道に続けてまいりました。

しかしながら本年度は新型コロナの発生により三密などを防ぐ意味もあって例年行っている春の総会は中止とし、会長、および役員等はメールほかで会員に意見等を伺い選考委員会で改選いたしました。

また、アマチュア無線界の将来を見据えて支出を抑えるため、いろいろな行事に対するクラブからの補助を受益者負担などに変更し、その分今までの会員の年会費の大幅な減額(三分の一)に着手しています。

新入会者の負担も減りますが、当然このご時世ではなかなか会員増は望めませんがこれによって敷居をできるだけ下げ昔のように老若男女、職業にかかわらない同好者の和気あいあいとした集まりの雰囲気を少しでも取り戻せたら幸いかと思っています。

さらに本年度の活動は基本的に自粛することに決定。

当分はこの新型コロナ騒ぎがおさまるまで移動運用やミーティングなどは差し控えることにし、その分今年の会費の徴収もゼロということにしました。

ただ、例年から続いている会報の発行は滞りなく行っています。

現在は通算700号に届こうかというロングランを続けていることは当クラブの自慢できることの一つかと思います(配信はEメールに移行しつつあります)。

現在のクラブコールJA0YMAの活用を推進していくためFT8などのデジタル通信の免許ももらいましたQRZ.COMに登録、eQSLでのカードの発行も始めました。JARL主催のコンテストにも参加しJA0YMAのコールを積極的に活用していきたい考えです。

来年度は旧直江津市と旧高田市が合併した上越市制50周年に当たります。これにあたって市と折衝し特別局の開設を企画しています。

なお、現在発行を停止している「天と地」のAwardもいずれ再開したいと考えています。

以上 JARL 上越クラブの近況報告といたします。 )(JARL 新潟県支部宛)

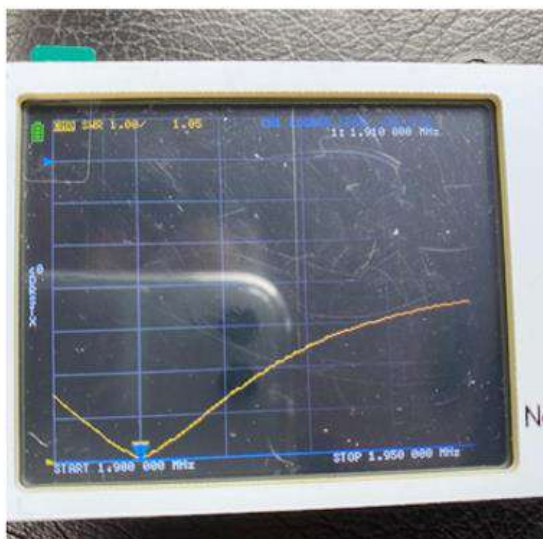
JARL 上越クラブ会長 坂本廣一郎 JASCHP/0 (JJ0AWX)記

## 中国製の格安なネットワークアナライザー nanoVNA のご紹介

JJØSFV 古賀昭夫

かつてハムにとっての測定器三種の神器といえば、テスター、ディップメーター、オシロスコープであった。現代のハムにとって、あこがれの測定器ナンバーワンは、おそらくアンテナアナライザーであろう。これが無いと、アンテナ調整は SWR 計をにらみながらの非効率な試行錯誤を余儀なくされる。しかしながら、アンテナアナライザーは小型無線機が買えるほどの値段で、気楽に入手するわけにはいかない。

実は 1 年ほど前から、nanoVNA という、日本人が設計した中国製の格安なベクトルネットワークアナライザーが出回っている。ベクトルネットワークアナライザーは無線機の調整に不可欠なプロ用の機械らしいが、本来は車が買えるほど高価である。ところが nanoVNA はアマゾンではなんと約 5500 円で売られており、これがアンテナアナライザーとして活用できるのである。



写真はコメントから発売されたマルチバンドロッドアンテナ HFJ-350M に、オプションの 1.8/1.9MHz 拡張コイル HFJ-L1.8/1.9 を取り付けたものである。当初はリグの SWR 計が振り切れて、やはり超短縮アンテナにマグネットアースでは実用にならないと諦めていたのである。ところが nanoVNA を使うことで、わずか 1 分で調整ができ、SWR1.05 まで落とすことができた。

nanoVNA はスミスチャートが表示できるなど、無限の可能性を持っているが、AICLUB のフェーズブックに投稿してみると、とりあえずアンテナアナライザーとして利用しているハムは意外と多いことがわかった。これなしでの生活はもはや考えられないなどの意見ばかりで、今では非常にポピュラーな代物であるようだ。

nanoVNA はスミスチャートが表示できるなど、無限の可能性を持っているが、AICLUB のフェーズブックに投稿してみると、とりあえずアンテナアナライザーとして利用しているハムは意外と多いことがわかった。これなしでの生活はもはや考えられないなどの意見ばかりで、今では非常にポピュラーな代物であるようだ。

難点としては、カセットテープぐらいの大きさのため画面表示が小さく、老眼にはきつい。しかしパソコンに接続し、大画面表示も容易にできるようになっている。また、様々な中国製品が出回っていて、どれを選べばよいのかわかりにくい。これはアマゾンの星評価などを信じ



て買うしかない。取扱説明書は一切ないので、自分で調べるしか方法がないのも敷居が高い。

詳しい使い方は、例えばハムワールド 2020 年 3,5,7 月号に連載されているし、インターネット上でも動画も含めて多数投稿されているのでぜひご覧いただきたい。7 月号のトランジスタ技術には 18 ページにわたる解説記事がある。

しかしこれは高度過ぎて当局にはチンプンカンプンであった。(すみませんが、技術的なご質問を私にされても、全く時間の無駄になりますのでご了承ください)



### 「各局訪問インタビュー(JHØRLBの巻)」

CHP:こんにちは。今日は当クラブで副会長として大変お世話になっている豊田さんのところに Web 訪問していろいろお話を聞こうかと思っています。ずいぶん前にわたしは実際に豊田さんのお宅には訪問したことがあるのですが、今回は新型コロナのこともありネットインタビューの形式でご勘弁を。では、豊田さん、よろしく願いいたします。



RLB:宜しく願い致します。

CHP:豊田さんは現在直江津に住んでおられますが、もともと直江津のご出身なのですか？またお仕事はもう年齢的にはリタイアされているのかもしれませんが簡単な経歴などお聞かせください。

RLB:生まれも育ちも直江津です。数年関東地方に行っていました。学生時代を含めて 15 年位居りました。東京葛飾、船橋、中山、横浜とアパート住まいでした。

CHP:無線の免許を取ってずいぶん経つと思いますがアマチュア無線に興味をもって免許を取られたのはどういったきっかけや動機、またそれはおいしくらいのことだったのでしょうか。

RLB: 4年生の秋ごろ同級生と一緒に巣鴨のCQビルの2階で養成課程の講習会(当時期は2週間程度だったと記憶しています。免許取得は関東電管です。すぐに局免を取得していればJ R 1 A \*\*\*もしくはJ A 0 I \*\*のコールではなかったでしょうか?今になってみればもったいなかったような気がしています。

CHP: 開局当初はどのようなリグで、また周波数などはどの辺に出られたのでしょうか。

RLB: 10年ほど1エリア(横浜)にいて上越へ戻って来て、従免を見ながら、開局申請をしました。最初は長野にいる学友とのラグチューがほとんどでした。しばらくたってSSBで144MHZや430MHzなどで国内を追っかける様になりました。

CHP: 私が東京のほうにいたとき6mのJCCを追っかけていたことがあります。その時に確か豊田さんと6mで交信しました。そのころは6mをよくやられていたのですか。

RLB: 一応はリグが一通りそろっていたのですが、なかなか声を出せないでおりました。ある時6mのリグで[CQ]を出してみました。最初は応答なしでした。その内に1エリアから声がかかりパイルになり2時間で80局程度と交信が出来ました。おそらく貴局と交信できたのもその時ではなかったでしょうか。

CHP: アマチュア無線を始めてよかったこととか何か特別の思い出なんかがありましたら。

RLB: HFや6mをやったまた移動運用もやり始めて交友関係が広がって様な気がします。また以前に交信した局と、総会や旅先などで沢山の局とのアイボールなどを楽しめた事ですね。また市町村の移動運用に出かけパイルアップを受け数百局と交信をした事ですね。

CHP: 最近はロールコールくらいしかお声を聞きませんが、今後またHFや6mなど現場?に復帰する予定はありませんか。

RLB: 最近は、野暮用が多くリグの前に落ちて座っている時間が中々取れず、頭を悩んでいる処です。クラブの移動運用や記念局運用があった時には運用したいですね。

CHP: もし無線以外にも趣味があればその話も少し。

RLB: 家庭菜園や旅行(車での)JARLの総会出席を兼ねて良く出かけていました。

CHP: 最後に上越クラブの皆さんやこれからアマチュア無線に興味をもって始めたいと思う特に若い方々などになにかひとことありましたらお願いします。RLB: リグを使っの交信も楽しいです

が、機会があったら総会などのイベントに出席して 以前交信をした局と出会い、より深い知識や絆を持つことが大切な事だと思います。

CHP:まだまだ豊田さんにはクラブの運営や JARL 新潟の発展に寄与していただきたいと思っています。ぜひ今後のご活躍を祈ってこれでインタビューは終わりたいと思います。本日はお忙しい中大変ありがとうございました。

RLB:これからはなるべく時間に余裕を作り、ハムライフを楽しんで行きたいと思っています。よろしく願います。有難うございました。



## 「e-ラーニングによる上級ハムの勧め」

JIφTWA 牛木健寛

昨年頃から2アマを取りたいと思い始めました。

パワーの制限以外は、制限ないと特別局などの運用の際、14MHzも運用出来て、多くの局にPR出来ると思ったからです。国家試験という道はあるのですが、約15年前に1アマを受けに一度だけ行ったことはあります。その時は科目合格でした。イラストで描かれた1アマの本を買って勉強しましたが基礎になる工学部分の計算が上手くできず、落ちて今に至りました。

数年前から、2アマの講習会制度はあることは知ってましたが、金額が5万近くするので、諦めてました。昨年支部大会に行った際、講習会の割引券を配っていたので、それをもらい、放置してました。今年に入り、色々な活動に参加していると上級を目指そうかと思いはじめ、4月期の受講に応募し、受講を始めました。その際、若干、割引券が役立ちました。

e-ラーニングという、講習会方式です。

基本は、パソコン（タブレット）が必要で、教科書を読み、パソコンで、各章にある中間問題を解いていくという勉強方法です。補助的に、講師の動画も見られます。

各章が終ると、終了試験に行けるか判定試験も有ります。判定試験までは、パソコン上です。判定試験に合格したら、最終試験が待っています。

最終試験は、自宅でできず、別場所になります。最終試験は、自分が受けた日と時間を好きに選べます。新潟県内には4か所の試験会場がありますが、実質常時受けられる場所は1か所で、新潟市西区にあるところです。それ以外は、月1程度です。

実質、上越エリア周辺では会場は有りません。近隣の長野市もありませんでした。

試験は、マウス操作で回答する方式です。筆記用具、ポケティなど、全ての持ち込みは禁止で、別場所に保管になります。受けた時出た内容は、法規はほぼ、中間テストからでしたが、2問ほど、新しいのが出ました。工学は、3問ほど新たに出て、中間試験で出た内容を改編したのも出ました。

養成講習会と言っても、4アマ講習会みたいにその場で学べばとれるという感じではなく、国家試験より確実に学んで、取れる率が上がるという感じでした。ただ、国家試験は年に2-3回、今年みたいにコロナがあれば中止があります。講習会は、金額は高いですが、受講時期を受講し、最終試験は期限はありますが、好きな時期に受けられるというメリットがあります。コロナのご時世、国家試験も中止になってますが、幸い、講習会は密にならないので、受講出

来て、よかったです。最後に、この手記を書いているときは、最後の結果待ちです。不安いっぱいです。ただ、上級に近づくには早い手だと思います。

## 「おもちゃ？」イヤイヤSSB送受信機です

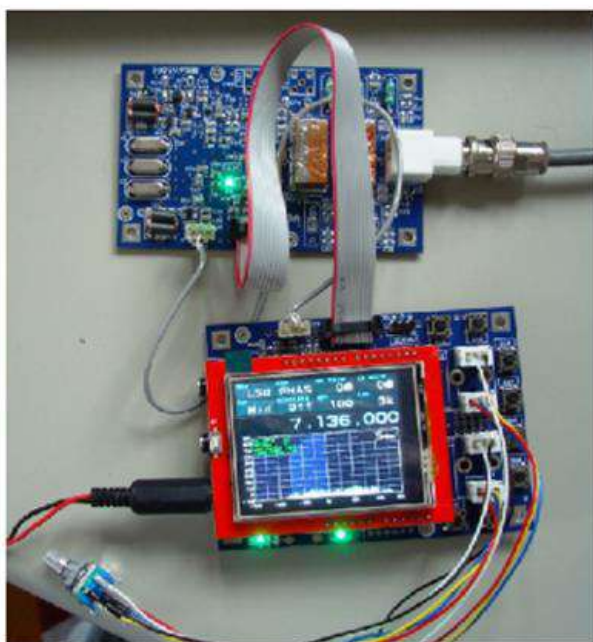
J A 0 D A E 小林友則

コロナが怖くて引きこもっているときにこんなのはどうでしょうか遊びに行ったと思えば何台も買えますねこんなキットもありますおもちゃみたいですがSDR-3と言うQRPのSSB送受信機ですでも立派なものですこんなのに807のリニアアンプも面白いのではフィルターを付け

れば申請できますねディスプレイが小さ過ぎて・・・目がショボショボで力が入りません。写真を添付します。

ガラケイ携帯のディスプレイと同じ位です。オーディオのほうも来年の6月まで休止で何か気抜けしていましたが最近無線、オーディオともいたずらを始めました。無線のほうは10GHZ、24GHZのハイビジョンの免許申請をしました。

オーディオのほうは大型送信管のアンプUV211のモノラルX2を作り始めましたいつになるかわかりませんができましたら見たり聞いたりしてみてください





### お知らせ

- ◆ 9月から10月くらいには上越市制50周年記念局の相談で集まりたいと思います。ぜひ協力をお願いします。  
ただしこの新型コロナが現在急速に感染者が増加していますので再考せざるを得ないかもしれませんが。
- ◆ 10月31日～11月1日開催予定のハムフェアは、コロナの影響で中止となりました。

K・C

### 編集後記

- ◆ 今回も各局のご尽力により、8ページの会報をお届けすることが出来ました。各局のご尽力に対し御礼申し上げます。
- ◆ また、最近JAØDAE 小林さんから会長と私宛にメールを戴きました。素晴らしい内容でしたので、会長にクラブ報掲載の許可を取って頂くようお願いし、快諾いただきました。小林さんにはGHz研修会の講師や納涼会などへの参加して頂く一方素晴らしい技術を保有して居られる方です。
- ◆ 原稿を頂いた各局さん、盛り沢山な内容、大変ありがとうございます。蒸し暑い時期に入ってきてますが、体調等気をつかれて、ハムライフ楽しまれてください。

K・Y

T・U

日本アマチュア無線連盟上越クラブ会報 No. 689

発行日 令和2年7月25日

発行責任者 会長 JA8CHP/Ø 坂本 廣一朗  
 広報編集部 部長 JAØAYY 山本 一夫  
 担当 JIØTWA 牛木 健寛

日本アマチュア無線連盟登録番号 08-1-0016